

III 調查票樣式

平成26年度 福島県政世論調査

調査票

I 復興に関する情報発信について

福島県では、復興やふくしまからはじまる新しい取組に関する情報を分かりやすくお伝えするため、県民の皆さんにどのように情報が伝わっているかなどをお伺いし、今後の情報発信に役立てまいります。

問1 震災・原発事故や復興について、あなたはどのような情報を知りたいですか。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(複数回答可)

- 1 食品や農産物の安全性確保についての取り組み・モニタリング情報
- 2 放射線の健康への影響や健康管理に関する情報
- 3 除染の進捗などの状況
- 4 復興へ向けた取り組み
- 5 安心して子育てできる環境づくりへの取り組み
- 6 被災者支援に関する情報
- 7 賠償
- 8 産業（工業、商業、農林水産業など）の復興に関する情報
- 9 特にない
- 10 その他（具体的に)

問2 復興が前に進んでいると感じるのは、どのような情報を得たときですか。
あてはまるもの3つまで○をつけてください。また、それらを選んだ理由があれば記入してください。

- 1 避難指示解除など区域の見直しに関する情報
- 2 除染が進んでいることを感じる情報
- 3 文化・スポーツの分野における本県選手の活躍に関する情報
- 4 復興公営住宅の建設・入居に関する情報
- 5 環境創造センターなど新たな拠点施設の整備に関する情報
- 6 本県で開催される全国規模のイベントに関する情報
- 7 子どもたちの笑顔や元気を感じる情報
- 8 道路、海岸など公共土木施設の復旧等に関する情報
- 9 新たなことに挑戦している若者等に関する情報
- 10 観光地等の賑わいに関する情報
- 11 農業や水産業の再開に向けた動きに関する情報
- 12 廃炉に向けた動きに関する情報
- 13 本県を応援している県外の人に関する情報
- 14 特にない
- 15 その他（具体的に)

上記の理由等

問3 本県の復興の状況に関する情報については主に何で入手していますか。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(複数回答可)

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1 新聞 | |
| 2 テレビ・ラジオのニュースなど | |
| 3 インターネット（行政以外のページ） | |
| 4 インターネット（県のホームページ、フェイスブック、ツイッターなど） | |
| 5 県の広報（広報誌・テレビ・ラジオなど） | |
| 6 市町村の広報（広報誌・テレビ・ラジオ、ホームページなど） | |
| 7 国の広報（テレビ・ラジオ・印刷物、ホームページなど） | |
| 8 行政以外の印刷物 | |
| 9 口コミ | |
| 10 その他（具体的に |) |

問4 あなたは、県の広報活動に満足していますか。

(ア)～(キ)についてそれぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。

			満足している	どちらかといえども満足している	どちらかといえない	どちらかといえない	満足していない	見たことがないのでわからない
(ア)	広報誌	ふくしまから はじめよう。ゆめだより	1	2	3	4	5	
(イ)	新聞	県政特集（福島民報・福島民友）	1	2	3	4	5	
(ウ)	テレビ	キビタンGO（福島テレビ：毎週火曜日 21:54～22:00）	1	2	3	4	5	
(エ)	テレビ	新生ふくしま（福島中央テレビ：毎週日曜日 13:00～13:05）	1	2	3	4	5	
(オ)	インターネット	県ホームページ	1	2	3	4	5	
(カ)	インターネット	Facebook（フェイスブック）「ふくしまからはじめよう。」	1	2	3	4	5	
(キ)	インターネット	YouTube（ユーチューブ）「県公式チャンネル」	1	2	3	4	5	

問5 あなたは、県外の方に、福島県のどのようなことを伝えるべきだと思いますか。
あてはまるもの3つまで○をつけてください。また、それらを選んだ理由があれば記入してください。

- 1 震災の被害の状況
- 2 復興に向けてがんばる県民の姿、前向きな取り組み
- 3 震災後の応援に対する感謝の気持ち
- 4 再生可能エネルギーの導入推進などの先進的な取り組み
- 5 被災者の生活状況、被災者の声
- 6 除染の進捗状況
- 7 県内観光地等の放射線のモニタリング情報
- 8 観光情報、来県の呼びかけ
- 9 県内外で開催される本県関係のイベント情報
- 10 農産物や県産品の安全性について
- 11 特にない（理由：）
- 12 その他（具体的に）

上記の理由等

II 心の健康について

県民一人ひとりが心の健康に関心をもつこと、そして、悩みを気軽に相談できることが、心の健康をより良く保つために、必要であると考えています。

県民の皆さまから「心の健康」についてお伺いし、今後の各種施策に役立ててまいります。

問6 あなたは心の健康について関心がありますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 大変関心がある
- 2 ある程度関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 まったく関心がない
- 5 わからない

問7 ふだん、気分が落ち込む、あるいは精神的に疲れていると感じことがありますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 頻繁に感じている
 - 2 ときどき感じている
 - 3 あまり感じない
 - 4 まったく感じない
 - 5 わからない
- } (問7-1～)

(問7で、「1 頻繁に感じている」、または「2 ときどき感じている」とお答えの方にお尋ねします。)

問7-1 主にどのようなことが心の負担になりますか。

あてはまるものに、いくつでも○をつけてください。(複数回答可)

- 1 自分の健康のこと
- 2 家族の健康のこと（病気・介護）
- 3 経済的なこと（家計やローンなど）
- 4 仕事のこと（仕事がうまくできるか、自分にあった仕事かなど）
- 5 仕事がないこと
- 6 学校のこと（学業について、進路についてなど）
- 7 将来の生活のこと
- 8 親との関係（接し方、かかわり方など）
- 9 子どもとの関係（接し方、かかわり方など）
- 10 配偶者との関係（接し方、かかわり方など）
- 11 その他の家族、親戚との関係（つきあい方、かかわり方など）
- 12 友達づきあいのこと
- 13 近所づきあいなど
- 14 職場や学校での対人関係
- 15 その他（具体的に：)
- 16 わからない

問8 心の健康について心配なことがある時、あなたは誰に相談しますか。

あてはまるものに、いくつでも○をつけてください。(複数回答可)

- 1 家族や親戚
- 2 友人
- 3 職場の同僚
- 4 職場の上司
- 5 学校の先生やスクールカウンセラーなど
- 6 地域の有識者
- 7 相談機関等の専門家
- 8 その他（具体的に：)
- 9 誰にも相談しない
- 10 わからない

問9 心の健康について相談するため、どのような相談機関を利用したことがありますか。

あてはまるものに、いくつでも○をつけてください。(複数回答可)

- 1 行政機関の相談窓口（精神保健福祉センターや保健所など）
- 2 精神科や心療内科などの医療機関
- 3 カウンセリングなどを行う専門的民間機関
- 4 その他（具体的に：)
- 5 相談したいが利用したことがない
- 6 相談する必要がないので利用したことがない

III 食育について

福島県では平成22年3月に「第二次福島県食育推進計画」を策定し、「食を通してふくしまの未来を担う人を育てる」を目標に、県民運動として推進しています。

今年度、新たに平成27年度からの第三次計画を策定するにあたって、県民の皆さまの御意見をお伺いし、今後の食育の推進施策に役立ててまいります。

問10 あなたは、「毎年6月は『食育月間』、毎月19日は『食育の日』」であることを知っていますか。

あてはまるものに1つに○をつけてください。

- 1 知っている
- 2 名称は知っているが、月日までは知らなかつた
- 3 知らない

問11 県では、福島県と食育活動を行う企業が連携し、県民運動として食育の推進を図るため、「福島県食育応援企業団」を設置しています。

あなたは、その名称を知っていますか。また、その活動に参加したことがありますか。

あてはまるものに1つに○をつけてください。

- 1 名称を知っており、活動に参加したことがある
- 2 名称は知っているが、活動に参加したことはない
- 3 名称は知らなかつたが、機会があれば参加したい
- 4 名称も知らないし、関心もない

問12 県では、福島県と地域の食育活動を支援するため、食育体験や交流、食生活改善、地域の食文化や郷土食の伝承等の活動を実践する方々を「ふくしま食育実践サポートー」として登録し、学校や地域団体の要請に応じて派遣しています。

あなたは、その名称を知っていますか。また、その活動に参加したことがありますか。

あてはまるものに1つに○をつけてください。

- 1 名称を知っており、活動に参加したことがある
- 2 名称は知っているが、活動に参加したことはない
- 3 名称は知らなかつたが、機会があれば参加したい
- 4 名称も知らないし、関心もない

問13 朝食または夕食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 ほとんど毎日食べる
- 2 週に4～5日
- 3 週に2～3日
- 4 週に1日程度
- 5 ほとんどない

問14 あなたは、日ごろから健全な食生活を行うために「食育」に関する活動や行動を実践していますか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。 (複数回答可)

- 1 朝食を必ず食べること
- 2 栄養バランスのとれた食生活
- 3 より安全な食品の購入
- 4 食料自給状況に関する理解の向上
- 5 農業生産・加工活動への参加
- 6 食生活の改善に関する勉強会への参加
- 7 地域の伝統料理教室への参加
- 8 食に関する伝統行事への参加
- 9 食に関わるボランティア活動への参加
- 10 特にしていない
- 11 わからない

問15 あなたは、健康に配慮した食環境を整備するために、飲食店等で実施して欲しいと思う健康サービスは何ですか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。 (複数回答可)

- 1 献立のエネルギーや塩分等の栄養成分の表示
- 2 ヘルシーメニューの提供
- 3 禁煙又は分煙
- 4 栄養・健康情報の提供
- 5 その他 ()

IV 農林水産業について

震災後の本県農林水産物や農山漁村に対する県民の皆さんの意識をお伺いし、今後の農林水産業の振興のための効果的な施策に役立ててまいります。

問16 震災後、あなたが農林水産物の購入や食生活において、以下の行動のうち実践しているまたは実践したいと考えていることはありますか。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(複数回答可)

- 1 国産の食材を積極的に購入する
- 2 県産の食材を積極的に購入する
- 3 放射性物質の検査結果がわかるもののみ購入する
- 4 ごはんを中心とした日本型食生活の実践
- 5 米を原料とするパンや麺など米粉製品を積極的に利用する
- 6 食べ残しを減らすなど食品の廃棄を減らす
- 7 その他（具体的に：）

問17 あなたが本県の農山漁村の役割として期待することは何ですか。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(複数回答可)

- 1 農山漁村の中で、地域の人々が働き、生活する場
- 2 食料を生産する場
- 3 多種多様な生物が生息できる環境としての役割
- 4 農林漁業の作業体験等を通した教育の場
- 5 水資源のかん養や土砂崩れ・洪水などを防止する役割
- 6 伝統文化を保存・承継する役割
- 7 農山漁村の景観による癒し、レクリエーションの場
- 8 滞在型体験農園などの活用による二地域居住
- 9 その他（具体的に：）

V 廃棄物対策について

福島県では、「福島県廃棄物処理計画」を策定し、廃棄物の減量化や適正処理を推進するための施策に取り組んでいます。

今年度、新たに平成27年度から平成32年度の計画を策定するにあたって、廃棄物に関する県民の皆さまの御意見をお伺いします。

なお、ここで単に「廃棄物」という場合は、家庭ごみ・産業廃棄物の両方を含みます。

問18 本県では、家庭ごみなどの一般廃棄物について、リサイクル率（排出量に占めるリサイクル量の割合）の平成26年度における目標値を24.5%と zwar いますが、平成20～24年度の5年間の実績値が15.5～13.7%と、目標値と比較してかなり低くなっています。

あなたは、リサイクル率を向上させるための行政の取組として必要なことは何だと思いますか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- 1 ごみステーションにおける資源ごみの種類ごとのボックスの設置など、分別しやすい環境を整備する
- 2 資源ごみの回収を促進するため、資源ごみの回収日を増やす
- 3 ごみの量を減らすため、資源ごみ以外のごみの処理を有料化する
- 4 町内会などに対して、資源ごみの集団回収活動を促進するための支援をする
- 5 リサイクル業者に対して、育成のための支援をする
- 6 製造メーカーや販売店などに対して、リサイクルしやすい製品の製造・販売の促進を働きかける
- 7 製造メーカーや販売店などに対して、使用済み製品の回収の促進を働きかける
- 8 県民のリサイクル意識を向上させるため、教育、啓発、情報提供をする
- 9 その他（ ）
- 10 わからない

問19 現在、県では、県内の最終処分場に搬入される県外の産業廃棄物の割合を、県内の最終処分量全体の20%以下とすることを目標としています。

（法律で禁止や規制をしているわけではありません。）

あなたは、今後、県外の産業廃棄物の受け入れについて、どのように考えますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 法律で禁止や規制がなされていないなら、事業者の判断に任せればよい
- 2 ある程度ならば受け入れてもよい
- 3 受け入れることには一定の搬入抑制が必要である
- 4 一切受け入れるべきではない
- 5 わからない
- 6 その他（具体的に： ）

問20 お住まいの近くに廃棄物処理施設の設置が計画された場合、どのように考えますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 心配のない施設ならば、設置してもかまわない
- 2 多少心配でも社会生活に必要な施設なので、設置はやむを得ない
- 3 心配のない施設であっても、廃棄物処理施設なら反対する
- 4 生活環境への影響が心配なので、反対する
- 5 その他（具体的に：）
- 6 わからない

問21 福島県の廃棄物対策に対して特に力を入れてほしいと思うことはどのようなことですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- 1 優良な廃棄物処理業者の支援や育成
- 2 廃棄物の量を減らし、再生利用を進めるための技術開発研究の促進
- 3 廃棄物を適正に処理するための、排出者や廃棄物処理業者の監視や指導
- 4 廃棄物処理施設を設置する際の適切な指導
- 5 家庭ごみ焼却施設を、各ブロック（県北、県中、県南、会津・南会津、相馬、双葉、いわき）で1か所にまとめるによる効率化
- 6 不法投棄や野焼きなどの防止や厳しい取締り
- 7 廃棄物処理施設から発生する有害物質等を減らすための取組
- 8 廃棄物に対する県民の理解と知識を深めるための啓発活動
- 9 放射性物質に汚染された廃棄物の処理を推進するための取組
- 10 その他（具体的に：）
- 11 特にない

VI 地域社会の安全・安心（治安）について

震災後、治安情勢の変化により、県民の皆さんが抱いている安全・安心に関する意識や要望などを調査し、犯罪抑止対策や検挙活動等の効率的な推進に役立ててまいります。

問22 現在あなたが住んでいる地域（仮設住宅・借り上げ住宅も含む）の治安は良いと思いますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 良い → （問22－1へ）
- 2 悪い → （問22－2へ）
- 3 変わらない
- 4 わからない

（問22で、「1 良い」とお答えの方にお尋ねします。）

問22－1 良いと思う理由は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- 1 犯罪の被害に遭った人が身近にいない
- 2 町内会の人の巡回や防犯ボランティアの姿を良く見かける
- 3 パトカーや警察官の姿を良く見かける
- 4 隣近所とのコミュニケーションが図られている
- 5 犯罪発生のニュース等を聞かなくなった
- 6 地域住民の防犯意識が高まった
- 7 その他（ ）

（問22で、「2 悪い」とお答えの方にお尋ねします。）

問22－2 悪いと思う理由は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- 1 犯罪の被害に遭った人が身近にいる
- 2 町内会の人の巡回や防犯ボランティアの姿を見かけない
- 3 パトカーや警察官の姿を見かけない
- 4 隣近所とのコミュニケーションが図られていない
- 5 犯罪発生のニュース等をよく聞くようになった
- 6 地域住民の防犯意識が希薄になった
- 7 その他（ ）

(全員にお尋ねします。)

問23 犯罪の発生状況や犯罪を未然に防止する方法等の情報について、どのような形で提供されるのがよいと思いますか。
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 各種防犯研修会の開催 | 6 ラジオ放送による広報 |
| 2 警察官の訪問による具体的な助言活動 | 7 新聞の定期的な掲載 |
| 3 防犯広報紙の配布 | 8 携帯端末等へのメール配信 |
| 4 県警察ホームページへの掲載 | 9 その他（具体的に） |
| 5 テレビ放映による広報 | 10 わからない |

問24 犯罪に関するどのような情報が知りたいですか。
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 自分の住んでいる地域の犯罪情報 | 7 多発している犯罪の手口や傾向 |
| 2 市町村単位の犯罪情報 | 8 なりすまし詐欺に関する情報 |
| 3 福島県全体の犯罪情報 | 9 来日外国人の犯罪情報 |
| 4 全国の犯罪傾向 | 10 インターネットに関する犯罪情報 |
| 5 学校や幼稚園周辺の犯罪情報 | 11 防犯設備・防犯グッズ等の情報 |
| 6 少年非行の現状 | 12 その他（） |

問25 安全・安心な地域社会をつくるため、警察にどのような活動を強化してほしいと考えますか。
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- | |
|------------------------------|
| 1 犯罪の検挙活動 |
| 2 犯罪の抑止活動 |
| 3 パトロール等街頭活動（被災地等における活動を含む。） |
| 4 巡回連絡（家庭等の訪問活動） |
| 5 緊急事案に対する迅速な対応 |
| 6 交通取締り等の交通事故の抑止活動 |
| 7 犯罪・事故被害者に対する支援 |
| 8 事件・事故に関する情報発信 |
| 9 警察安全相談の充実 |
| 10 意見・要望への的確な対応 |
| 11 防犯・交通ボランティア等の結成、活動への支援 |
| 12 その他（） |
| 13 特にない |

問 26 現在お住まいの地域で最も不安を感じ、今後重点的に取り締まってほしい犯罪は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- 1 殺人、強盗等の凶悪犯罪
- 2 空き巣や車上ねらい、自転車盗などの街頭犯罪
- 3 子どもに対する声かけやいたずら
- 4 強姦、強制わいせつ、痴漢等の性的犯罪
- 5 なりすまし詐欺（振り込め詐欺など）
- 6 少年犯罪
- 7 児童買春・児童ポルノ等の少年の福祉を害する犯罪や児童虐待
- 8 DV（ドメスティックバイオレンス＝配偶者間暴力）やストーカー犯罪
- 9 ヤミ金融事犯や悪質商法
- 10 インターネットを利用したサイバー犯罪
- 11 飲酒運転、ひき逃げ又は暴走行為などの悪質・危険な交通法令違反
- 12 暴力団等による組織犯罪
- 13 外国人犯罪グループによる犯罪
- 14 公務員等による汚職事件
- 15 麻薬、覚せい剤の売買、乱用などの薬物犯罪
- 16 不法投棄などの環境犯罪
- 17 銃器の使用・所持・密輸・密売などの銃器犯罪
- 18 東日本大震災の被災地における各種犯罪
- 19 その他()
- 20 特にない

VII 安全で安心な県づくりについて

福島県では、「福島県安全で安心な県づくりの推進に関する条例」に基づき、真に安心できる暮らしの実現に向けて各種施策を行うこととしています。県民の皆様に「安心」をどのように実感しているのかについてお伺いし、今後の安全安心に関わる各種施策に役立ててまいります。

問27 次にあげた（ア）～（キ）の項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。

	は い	「は い」 どちらかと言え ば	・該 当 し な い	ど ち ら か と 言 え ば	ど ち ら か と 言 え ば	い い え
ア あなたの暮らす地域は、自然災害や大規模な火事災害などに対して、安心して暮らせる災害に強い地域だと思いますか。	1	2	3	4	5	
イ あなたは、福島第一原子力発電所事故の発生により、長期にわたる健康不安を感じていますか。	1	2	3	4	5	
ウ あなたの暮らす地域は、児童、配偶者、高齢者、障がい者などに対する虐待や暴力がなく、安心して暮らせる地域だと思いますか。	1	2	3	4	5	
エ あなたの暮らす地域は、交通事故がなく安心して暮らせる環境が整っていると思いますか。	1	2	3	4	5	
オ あなたは、暮らしている地域の夜間や休日の救急診療に不安を感じていますか。	1	2	3	4	5	
カ あなたは、毎日の食生活において食品の安全に不安を感じることなく安心して暮らしていますか。	1	2	3	4	5	
キ あなたの暮らす地域は、水や大気など生活環境の安全が確保されていると思いますか。	1	2	3	4	5	

※ 平成23年3月11日に発生した東日本大震災及びそれに伴う福島第一原子力発電所事故に伴い避難されている方につきましては、「あなたの暮らす地域」について、以下により回答してください。
 ・福島県内に避難されている方 → 現在お住まいの地域の状況を回答してください。
 ・福島県外に避難されている方 → 避難する前に住んでいた地域の状況を回答してください。

VII 県総合計画について

福島県では、30年後の未来を展望して策定した総合計画「ふくしま新生プラン」に基づき、基本目標「夢・希望・笑顔に満ちた“新生ふくしま”」の実現に向け取り組んでいます。

計画の取組に関連した以下の項目について、県民の皆さんと考えをお聞きし、総合計画の評価・検討に活用してまいります。

問28 次にあげた（ア）～（コ）の項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。

	は い	ど ちらか と 言 え ば 「 は い 」	ど ちらか と 言 え ば ・ 該 当 し な い	ど ちらか と 言 え ば 「 い い え 」	い い え
ア あなたは、福島県内で子育てを行いたいと思 いますか(あなたが親の立場に立ったと仮定し てご回答願います)。	1	2	3	4	5
イ あなたは、福島県の教育環境に満足していま すか(あなたが親の立場に立ったと仮定してご 回答願います)。	1	2	3	4	5
ウ あなたは、文化活動やスポーツ活動に積極的 に参加していますか(鑑賞を含む)。	1	2	3	4	5
エ あなたは、住民やNPOなどによる地域活動 に積極的に参加していますか。	1	2	3	4	5
オ あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を 大切にしたいと思いますか。	1	2	3	4	5
カ 県は、原子力災害の被災地域の復興・再生 に向けて、十分な取組を行っていると思 いますか。	1	2	3	4	5
キ あなたは、地元産の食材を積極的に使用し ていますか。	1	2	3	4	5
ク 県内には、あなたが魅力を感じる企業があ りますか。	1	2	3	4	5
ケ あなたは、日常生活で、再生可能エネルギー (太陽光など)の利用を進めたいと思 いますか。	1	2	3	4	5
コ あなたは、現在の職業や仕事に満足していま すか。	1	2	3	4	5

	は い	ど ち ら か と 言 え ば 「 は い 」	ど ち ら か と 言 え ば ・ 該 当 し な い	ど ち ら と も 言 え な い	ど ち ら か と 言 え ば 「 い い え 」	い い え
サ あなたは、国内外の友人・知人に対して、自信を持って紹介できる地元のもの（自然、特産品、観光、文化など）がありますか。	1	2	3	4	5	
シ あなたの住む地域は、交通ネットワークや情報基盤が十分に整備された地域ですか。	1	2	3	4	5	
ス あなたは、生活習慣病などの対策のため、健康診断を受診していますか。	1	2	3	4	5	
セ あなたの住む地域は、身近なところで、必要な医療を受けることができる地域ですか。	1	2	3	4	5	
ソ あなたの住む地域は、家庭や身近な施設で、必要な福祉サービスを受けることができる地域ですか。	1	2	3	4	5	
タ あなたは、食品や日用品など、消費生活に関して不安を感じることなく、安心して暮らしていますか。	1	2	3	4	5	
チ あなたの生活空間は、放射線から安心して暮らすことができる空間ですか。	1	2	3	4	5	
ツ あなたは、大規模災害に備えて、避難場所の確認や食料の備蓄などを行っていますか。	1	2	3	4	5	
テ あなたの住む地域では、女性の社会参画が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5	
ト あなたは、日頃、人と人の支え合いや絆を実感していますか。	1	2	3	4	5	
ナ 福島県は、自然が豊かで、美しい景観を有する県であると思いますか。	1	2	3	4	5	
ニ あなたは、日頃、省エネルギーや地球温暖化防止を意識した取組を行っていますか。	1	2	3	4	5	

◆ このページの質問は、アンケートにお答えいただいた内容を統計的に分析するためにお尋ねするものです。最後までご協力を願いします。

あなた自身についてお答えください。

F 1 あなたの性別をお知らせください。

1 男

2 女

F 2 あなたの満年齢をお知らせください。 (平成26年8月1日現在)

1 15～19歳	5 35～39歳	9 55～59歳
2 20～24歳	6 40～44歳	10 60～64歳
3 25～29歳	7 45～49歳	11 65～69歳
4 30～34歳	8 50～54歳	12 70歳以上

F 3 あなたの現在のご職業は何ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。
(複数の職業をお持ちの方は、主とするもの1つに○をつけてください)

- 1 農・林・漁業 (農業・林業・漁業の自営者、家族従業者)
- 2 商・工・サービス業 (小売店・飲食店・理髪店などの自営者、家族従業者)
- 3 自由業 (開業医・弁護士・芸術家・茶華道の師匠などの自営者、家族従業者)
- 4 管理職 (民間会社・官公庁の課長級以上)
- 5 事務職・専門技術職 (事務職員・教員・技術者など)
- 6 技能職・労務職 (技能工・販売店員・外交員など)
- 7 パートタイマー・アルバイト・フリーター・嘱託など
- 8 専業主婦・主夫
- 9 学生・生徒
- 10 その他 (具体的に :)
- 11 無職

F 4 あなたがお住まいの市町村名をご記入ください。

(震災の影響により現在避難している方は、避難する前の市町村名)

(市・町・村)

お忙しいところ、ご協力いただきありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒をお使いのうえ、
8月29日(金)までに、切手を貼らずに郵便ポストに投函してください。